

鳥取県×明治大学 連携企画

孤独のグルメ

谷ロジロー原画展

明治大学 米沢嘉博記念図書館 1階展示室

2012年6月1日(金)
～9月30日(日)

月・金: 14:00～20:00 土・日・祝: 12:00～18:00

休館日: 毎週火・水・木曜(祝日開館)
8月26日(日)・27日(月)

※特別整理などで休館する場合があります。当館ウェブサイト、
または開館日に電話にてご確認ください。

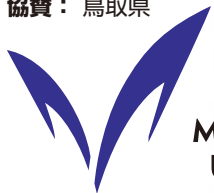
主催: 明治大学 米沢嘉博記念図書館
〒101-8301 東京都千代田区猿楽町1-7-1
Tel. 03-3296-4554

http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/

協力: 久住昌之(『孤独のグルメ』原作者)
扶桑社 SPA! 編集部、テレビ東京

協賛: 鳥取県

入場無料



MEIJI
UNIVERSITY

マンガ家・谷口ジロー氏の原画展を、出身地の鳥取県と明治大学との連携企画として行います。

谷口氏は、極めて高い画力と構成力によって、ハードボイルドな探偵ものから、厳しい自然の世界を描いた動物もの、さらには日常生活のささやかな喜びまで、幅広いジャンルの作品を手がけて、高い評価と熱い支持を集めてきました。その評価は今や海外にもおよび、フランスで芸術文化勲章シュヴァリエを受勲するなどの栄誉に輝いています。

今回は「孤独のグルメ」を中心とした展示を行います。原作者・久住昌之氏と組み、男性向けの一般誌で連載されているこの作品は、「男が一人で食べる」ことに焦点を合わせることで、「ハードボイルドグルメ」マンガという新境地を切り開き、ロングセラーとなっています。この春にはドラマ化もされ、人気を博しました。仕事場でコンビニのおでんを食べる様子などがいかにも魅力的に見えるのは、まさに谷口氏の描写の力ならではのと言えるでしょう。繊細で力強く、ユーモアを兼ね備えた絵の力を、原画によってじっくりご堪能ください。



「孤独のグルメ」原画 ©久住昌之/谷口ジロー

モノを食べる時はね
誰にも邪魔されず
自由で なんと
救われてなきやあ
ダメなんだ
独りで静かで
豊かで……

■展示内容

◎原画 約150点

◎関連資料 約200点

◎関連上映 テレビドラマ「孤独のグルメ」
プロモーション映像

※2階閲覧室で谷口氏の単行本等関連資料を
ご覧になれます。

※開期中4回の展示替えを行います。

- ・第一期：6/1(金) - 7/2(月)
- ・第二期：7/6(金) - 7/30(月)
- ・第三期：8/3(金) - 8/25(土)
- ・第四期：8/31(金) - 9/30(日)

■関連イベント

(1) 久住昌之トークショー：6月(予定)

(2) 担当編集者トークショー：7月(予定)

講師：新保信長(「孤独のグルメ」現担当編集者)

(3) 谷口ジロー講演：9月(予定)

※詳細情報は当館ホームページでご確認ください。

http://www.meiji.ac.jp/manga/yonezawa_lib/



「神々の山嶺」原画 ©夢枕獯/谷口ジロー

■谷口ジロー (TANIGUCHI Jiro) 略歴

1947年8月14日生まれ、鳥取県鳥取市出身。1971年「喰れた部屋」(『ヤングコミック』12/22号掲載)にてマンガ家デビュー。ハードボイルドや動物もの、冒険、格闘、文芸、SFと多彩な分野の作品を手がける。1990年代には、日常生活に題材を求めた作品の発表を開始した。これまでに様々な賞を受賞し評価される、日本が誇るマンガ家である。代表作『坊っちゃん』の時代シリーズ(共作：関川夏央、1987-96年)、『父の暦』(1994年)、『孤独のグルメ』(原作：久住昌之、1996年-『SPA!』にて不定期連載中)、『遙かな町へ』(1998年)、『神々の山嶺』(原作：夢枕獯、2000-03年)など。1992年第37回小学館漫画賞審査員特別賞、1998年第2回手塚治虫文化賞マンガ大賞、第5回文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞、2005年アングレーム国際漫画祭最優秀美術賞など、受賞歴多数。2011年にはフランス政府芸術文化勲章シュヴァリエを受勲。

■まんが王国とっとり建国記念「国際まんが博」連携企画

- ・明治大学所蔵「まんが・アニメ資料巡回展」(仮)：8月-9月 会場 / 鳥取県立図書館ほか
- ・谷口ジロー原画展：11月9日-14日 会場 / ギャラリーそら(鳥取市)
- ・国際マンガサミット鳥取大会：11月7日-11日 会場 / 米子コンベンションセンター

